

NATIONAL INSTITUTE OF ADVANCED INDUSTRIAL SCIENCE & TECHNOLOGY



● 総合お問い合わせ

https://www.aist.go.jp/aist_j/inquiry/form/inquiry_form.html



● AIST Solutionsのご案内

<https://www.aist-solutions.co.jp/>



● 研究成果

https://www.aist.go.jp/aist_j/research/



● 見学施設

・ AIST-Cube ・ 地質標本館 ・ ライフ・テクノロジー・スタジオ
https://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/exhibition/



● 採用情報

https://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/

見えない未来を、見える未来へ。 産総研が隣にいる。

研究開発の道は、果てしない。
産総研は、その険しさをよく知っています。

でも、まだ見ぬ頂を諦めたくない。
産総研は、あなたの覚悟も知っています。

だからこそ私たちは、
あなたのために、あらゆる手を尽くす。

未踏の地に向かう、地図を描く。
多彩な専門家で、最適なチームを編成する。
最高水準の技術や知財を、惜しみなく生かす。
そして事業化まで、ともに挑みつづける。

今はまだ見えなくても、いつか必ず見える未来の景色へ。
社会を変えるその景色まで、あなたと歩きます。

日本の産業を、世界の最高峰へ。
私たちは国立研究開発法人 産業技術総合研究所です。



国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)は、1882年に創設された農商務省地質調査所を発祥とし、以来140年以上にわたりわが国の経済や社会の発展に寄与するための研究活動を続けてまいりました。

エネルギーや資源の安全保障、地球規模の気候変動や環境問題、先進国が直面する少子高齢化への対応、激甚化する自然災害や大規模な感染症への社会全体のレジリエンスなど、現在日本のみならず全世界が、さまざまな社会課題に直面しています。私たち産総研のミッションは、科学技術によってこれらの社会課題を解決へと導くこと、また、日本の産業競争力の強化に貢献することです。

ミッション達成のためには、私たちが自ら、わが国のイノベーション・エコシステムの中核となる必要があります。産総研が目指すイノベーション・エコシステム

とは、研究課題の設定から社会実装までのサイクルを、産総研が中心となり、大学・公的機関や企業と一緒に回転させて、イノベーションを連続的に生み出すものです。この中では、革新的な研究成果を生み出すだけでなく、それが製品やサービスの形で、ビジネスとして確実に社会に実装されることが重要です。ここで生まれる利益が次の研究開発につながり、持続性のあるエコシステムとして機能します。

産総研はこれまで、イノベーション・エコシステムの中核として必要な機能や制度を整備してきました。その一例が、2025年度に設置した7つの「実装研究センター」です。これは、産総研が取り組むべき3つの社会課題からバックキャストして、総合力を生かし、

技術の社会実装を効率的かつ早期に実現するための組織です。

私たちは、「成長し続ける国研」として、これからも社会に新たな価値を持続的に創造します。「ともに挑む。つぎを創る。」が私たちのビジョンです。これからも、ステークホルダーの皆様とともに、よりよい未来を形作るための挑戦を続けてまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
理事長 兼 最高執行責任者

石村和彦

産総研の研究推進組織

産総研では研究推進組織として7つの領域と1つの特別の組織を設置し、研究部門や研究センターなどを配置して、産業や社会ニーズに応える研究開発を実施しています。研究部門では、基礎・基盤研究から実用化に繋げるための研究開発を持続的に推進し、研究センターでは、先端技術や政策的ミッション、新興技術の研究開発を推進しています。また2025年4月、産総研の総合力を生かした融合研究を強化するために、実装研究センターを発足させました。



実装研究センター

CCUS
実装研究センター

サーキュラー
テクノロジー
実装研究センター

ネイチャー
ポジティブ技術
実装研究センター

次世代ものづくり
実装研究センター

ウェルビーイング
実装研究センター

セルフケア
実装研究センター

レジリエントインフラ
実装研究センター

7つの領域と1つの特別の組織



エネルギー・環境

- 安全科学研究部門
- エネルギープロセス研究部門
- 環境創生研究部門
- 省エネルギー技術研究部門
- 電池技術研究部門
- 再生可能エネルギー研究センター
- ゼロエミッション国際共同研究センター



生命工学

- 健康医工学研究部門
- 細胞分子工学研究部門
- モレキュラーバイオシステム研究部門
- バイオものづくり研究センター



情報・人間工学

- インテリジェントシステム研究部門
- インテリジェントプラットフォーム研究部門
- サイバーフィジカルセキュリティ研究部門
- 人間社会拡張研究部門
- 人間情報インタラクション研究部門
- 人工知能研究センター



材料・化学

- 化学プロセス研究部門
- 機能化学研究部門
- 材料基盤研究部門
- 触媒化学研究部門
- ナノカーボン材料研究部門
- マルチマテリアル研究部門
- マテリアルDX研究センター



エレクトロニクス・製造

- エレクトロニクス基盤技術研究部門
- 製造基盤技術研究部門
- センシング技術研究部門
- ハイブリッド機能集積研究部門
- 先進パワーエレクトロニクス研究センター
- 先端半導体研究センター
- 光電融合研究センター



地質調査総合センター

- 活断層・火山研究部門
- 地圏資源環境研究部門
- 地質情報研究部門
- 地質情報基盤センター



計量標準総合センター

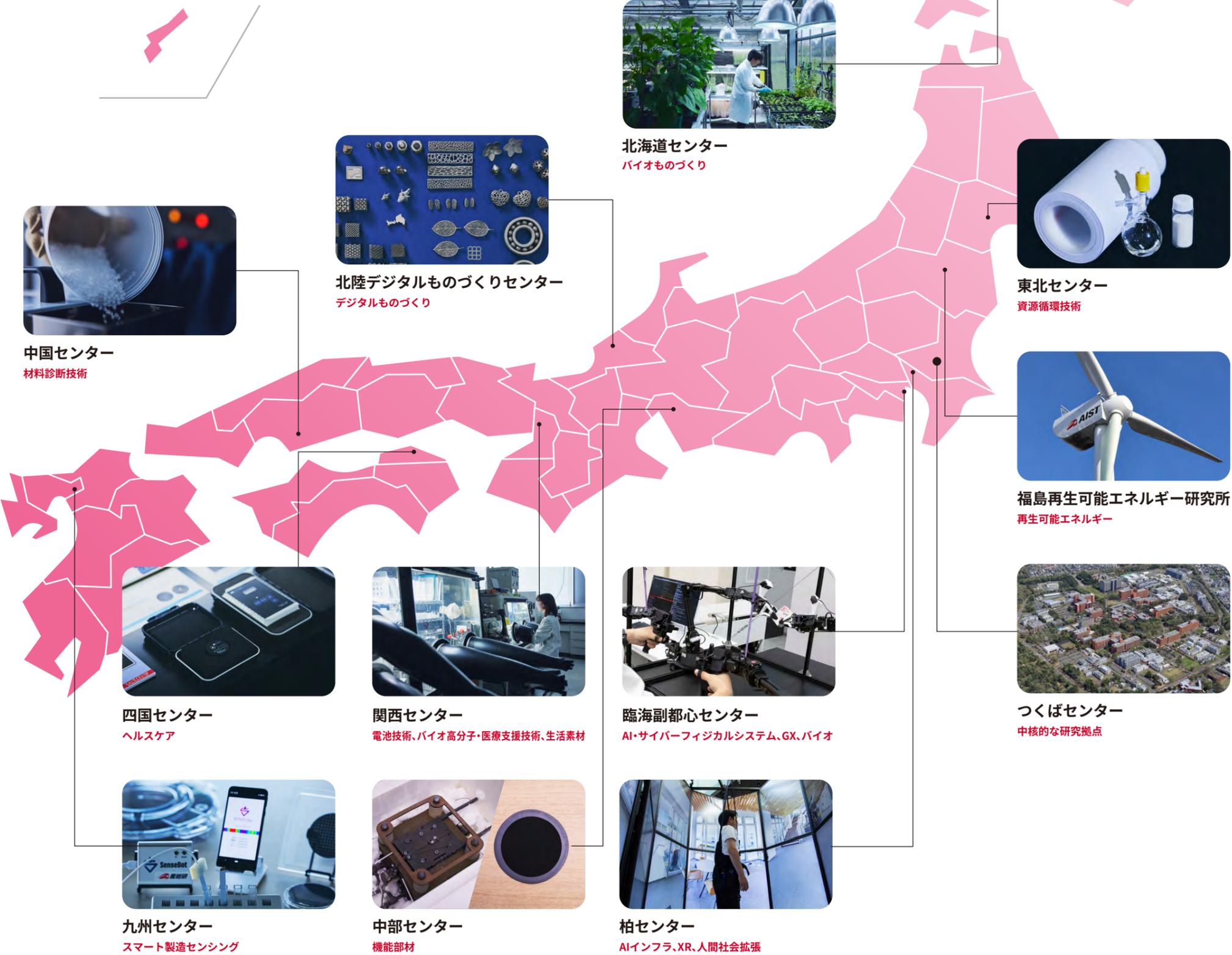
- 工学計測標準研究部門
- 物理計測標準研究部門
- 物質計測標準研究部門
- 分析計測標準研究部門
- 計量標準普及センター



量子・AI 融合技術ビジネス開発 グローバル研究センター

産総研の研究拠点

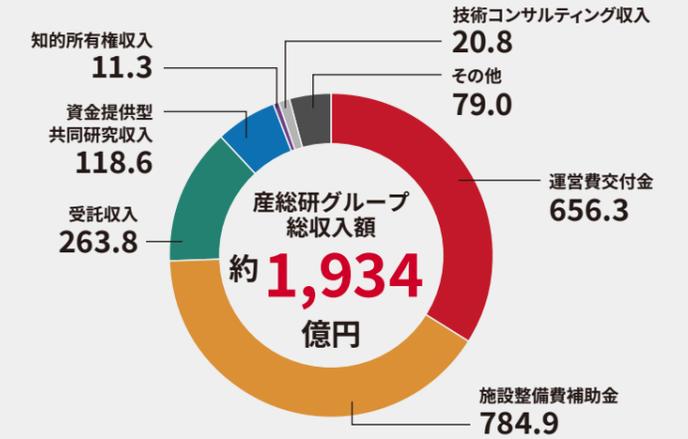
産総研は、全国各地に独自の強みを持つ研究拠点を配置しています。
地元企業のニーズへの対応、大学などの研究機関や企業との連携により、地域活性化に貢献しています。



人員データ

人員	研究職	2,287名	
12,322名	事務職	691名	
	技術職	45名	
※2025年3月末時点。ただし産学官・国際制度来所者などについては2024年度の実績		契約職員(ポスドク・テクニカルスタッフなど)	3,217名
	役員	10名	
	顧問および参与	17名	
	産学官・国際制度来所者など	5,869名	
	AIST Solutions社員	186名	

2024年度決算額 (単位:億円)



※産総研グループ総収入額およびその内訳は、産総研グループの事業規模を表すために便宜的に算出したもの
※予算は一千万円未満を四捨五入のため、合計が一致しないことがある

産総研グループ

産総研は、100%出資の株式会社AIST Solutions (AISol) とともに、産総研グループとして研究成果の社会実装に取り組んでいます。AISolは、企業と産総研をつなぎ、マーケティングにより新たな事業価値創出に貢献します。



2023.4 設立 成果活用等支援法人